

足の清潔を保てるようにしよう

～キレイは足先から～

社会福祉法人恩賜財団愛知県同胞援護会
特別養護老人ホーム 春緑苑
サークル名:大黒丸
発表者 :護持 依吏香
機械操作:小林 裕平

1. 職場紹介

春緑苑は愛知県春日井市に位置し、今年で開設31年目を迎えます。平成22年9月より53床増床し利用定員は170名となり、全室個室のユニットケアを行っています。個別ケアに重点を置きながら、ご利用者間の交流を図るために年中行事・クラブ活動等の集団処遇も取り入れ個別ケアと集団処遇の融合を推進しています。日々のケアでは、ご利用者の「オムツ外し」や「レクリエーション」に積極的に取り組み、より質の良い生活を送って頂けるよう取り組んでいます。

2. 実績発表グループ紹介

構成人員	15名	月の会合回数	3～4回
平均年齢	33歳	活動歴	6ヶ月
職種	介護士	テーマ歴	1件目
活動時間	業務時間内・外		

3. テーマ選定理由

私達、介護士は日々、食事、入浴、排泄等、ご利用者のお世話をさせて頂いています。その中でご利用者の身体の清潔を保つ事は重要な仕事の1つでもあります。しかし、H26年度大黒フロアでは入所してから水虫になってしまったり、蜂窩織炎になってしまったりする事が目立ちました。水虫でなくとも足が汚かったり爪が伸びていたりしているご利用者が多く見られます。そのような状態で果たして適切なケアを行い清潔を保てていると言えるのでしょうか？ご利用者が清潔な身体で安全に過ごして頂けるように今一度足の清潔を保つ為のケアを見直す為今回のQC活動に取り組みました。

- ・本テーマの活動期間:6ヶ月
- ・本テーマ会合回数:20回
- ・会合時間:50分

4. 今回の活動に関する施設長のコメント

1.活動が与えた施設への効果

今回のテーマが足の清潔ということで、キレイに洗えているつもりが、意外に洗えていなかった現状が、病気に繋がっていくこともあったが、今回の活動を通して職員の意識が変化していき「基本に忠実に」を再認識出来た。

2. 実施者に一言

実際に行なっているケアを見直したことは非常に良かったです。継続していく事を期待してます。

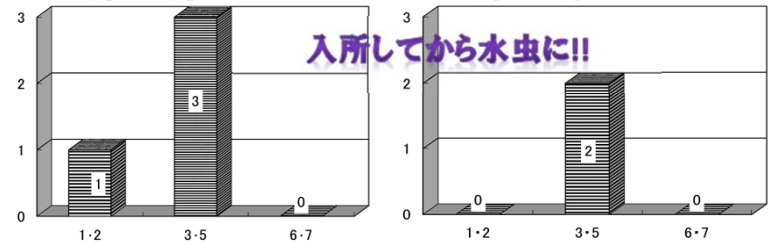
5. 活動計画 計画 実施 →

	担当	7月	8月	9月	10月	11月	12月
テーマ選定	小林						
現状把握	全員						
目標設定	平野						
要因分析	村島						
対策立案	井上						
効果確認	和田						
波及効果	山野内						
歯止め	松永						
反省	全員						

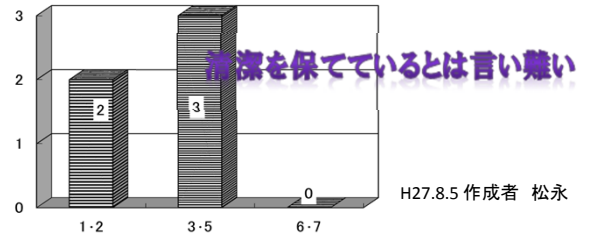
H27.7.25 作成者 竹内

6.現状把握①～③

①過去1年間で水虫と診断を受けていた人数 H26.8.1~H27.8.1 n=4
②入所してから水虫と診断を受けた人数 H26.8.1~H27.8.1 n=2



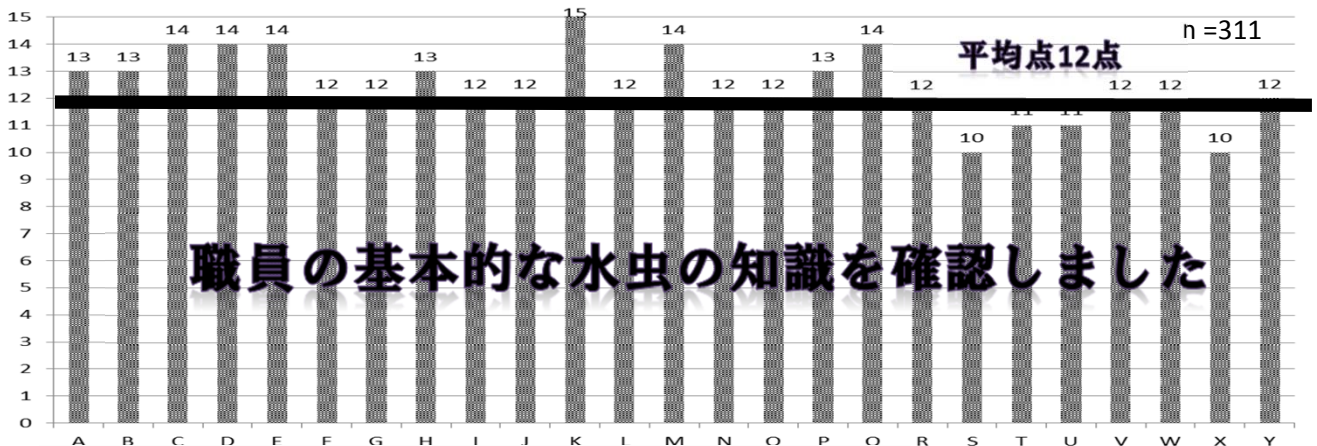
③過去1年間で蜂窩織炎になった人数 H26.8.1~H27.8.1 n=5



H27.8.5 作成者 松永

6.現状把握④ 水虫認知テストの結果

(PT)



6.現状把握⑤ 入浴介助時、足にかけている時間

H27.8.29 作成者 平野

(職員)



足の清潔を保つ為の4step+1

重要事項 4step+1



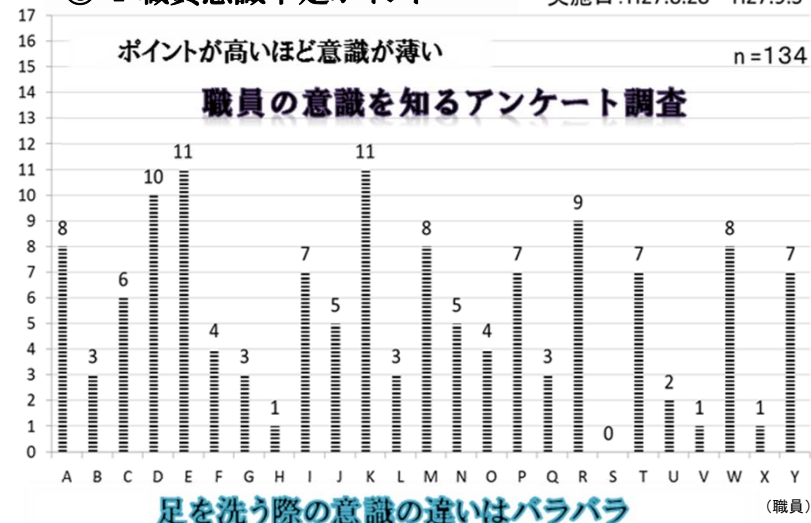
17項目を重点的にチェック!!



6.現状把握⑥-1～⑥-3 職員意識調査と実態調査

⑥-1 職員意識不足ポイント

H27.9.4 作成者 平野
実施日：H27.8.28～H27.9.3



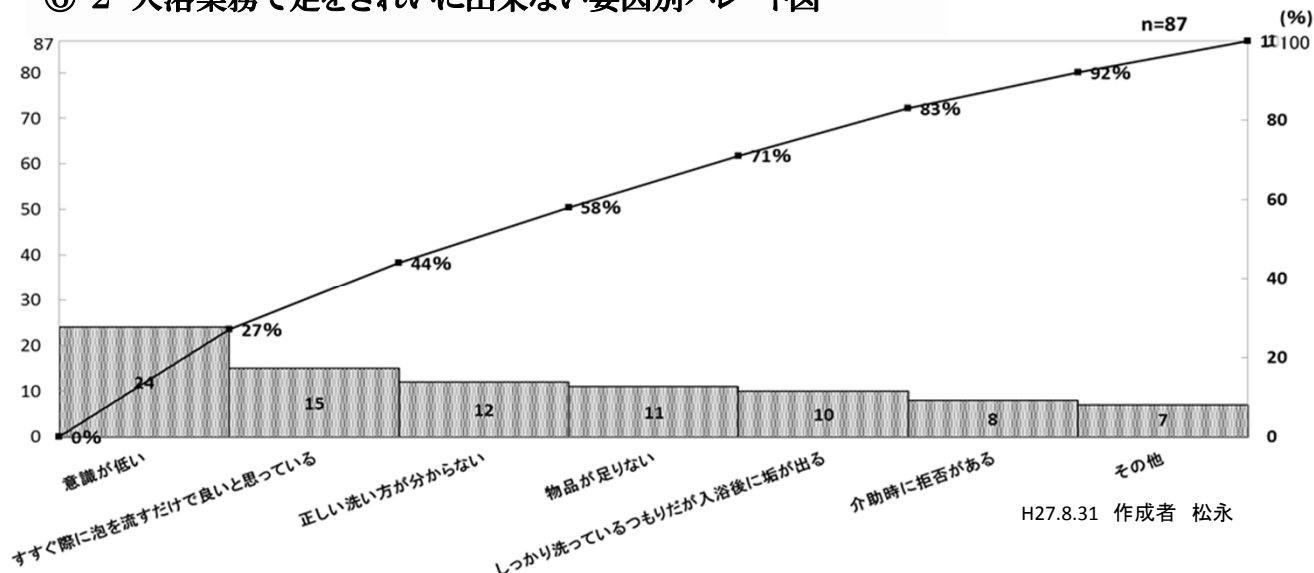
アンケート調査の内容・質問例

- 足の趾間をしっかりと洗えているか
- かかとをしっかりと洗えているか

上記のような質問を17問。

これらの質問に対し
0…毎回確実に行えている
1…だいたい行えている
2…あまりおこなえていない
3…行えていない
上記の4択で回答し「毎回確実に行えている」以外に回答した場合は理由も記述する。

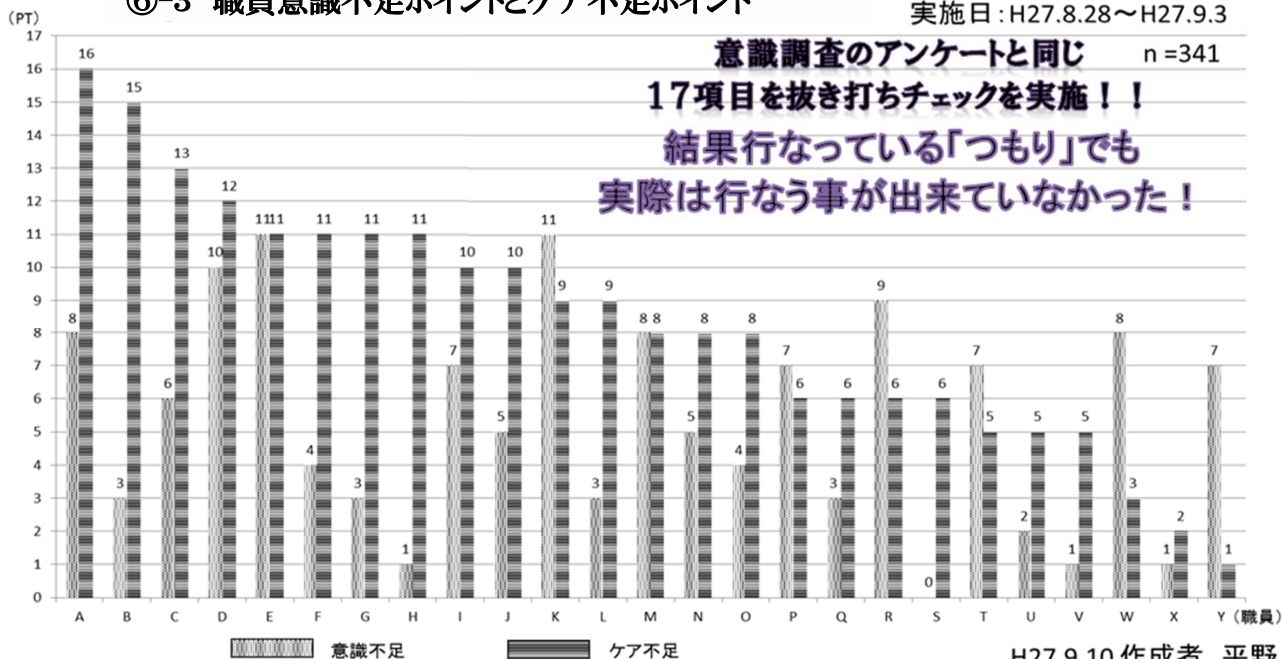
⑥-2 入浴業務で足をきれいに出来ない要因別パレート図



H27.8.31 作成者 松永

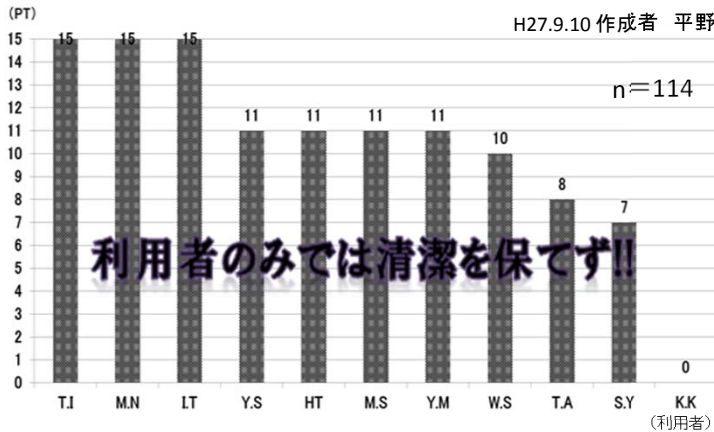
⑥-3 職員意識不足ポイントとケア不足ポイント

実施日：H27.8.28～H27.9.3

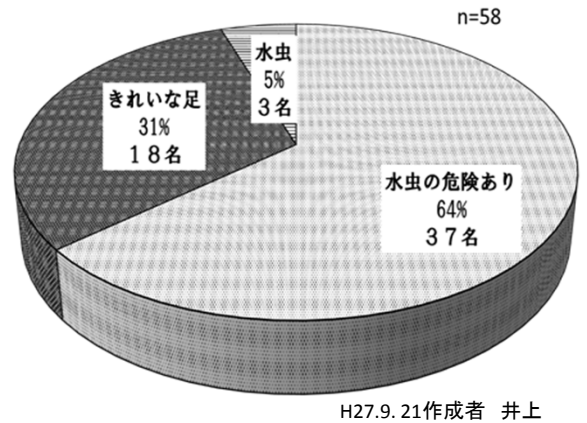


H27.9.10 作成者 平野

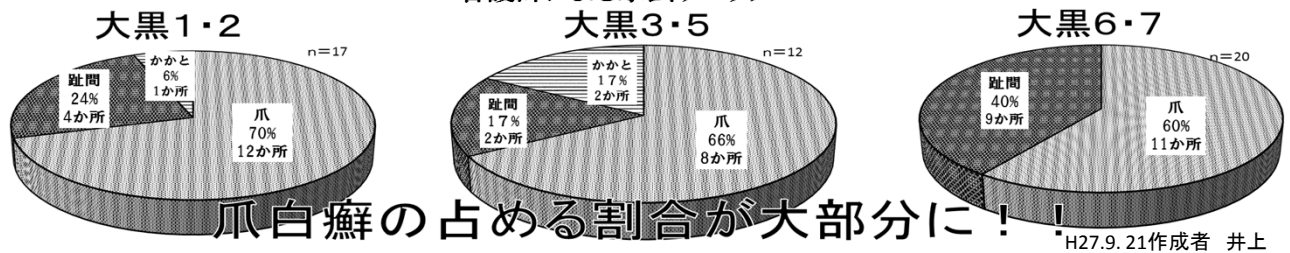
6.現状把握⑦ 利用者の足の清潔は職員のケア次第？
大黒フロア半介助者11名 自身で足を洗えていないポイント



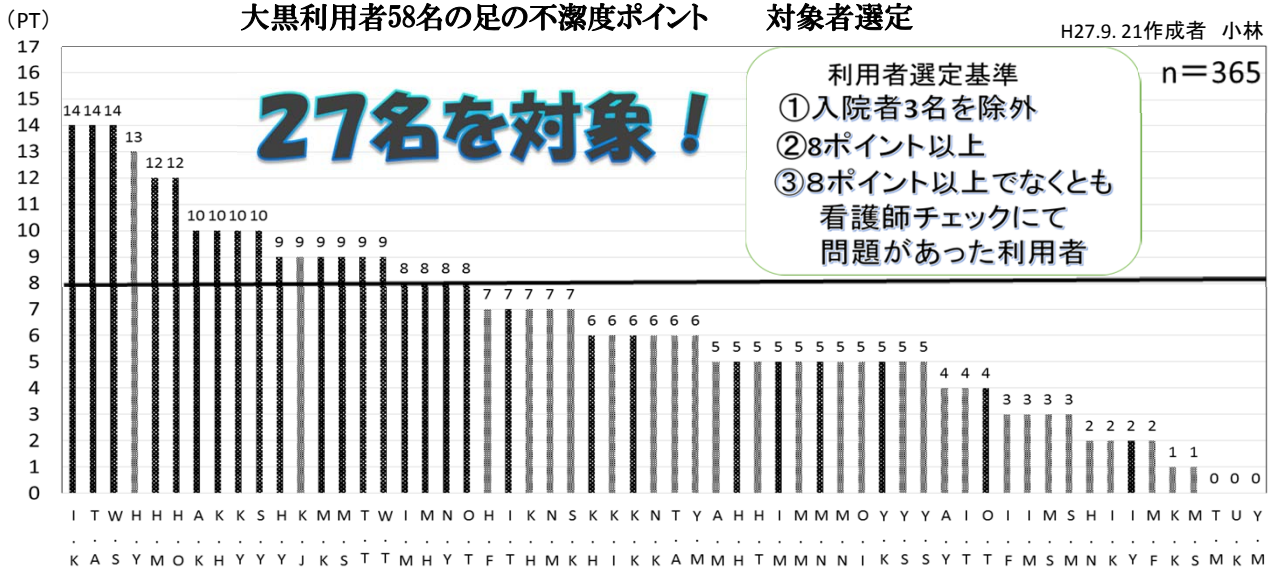
6.現状把握⑧ 看護師視点での大黒フロア
58名の足の現状



6.現状把握⑨ 水虫の部位もしくはその危険のある部位
看護師による水虫チェック



6.現状把握⑩ 利用者の足ってどのくらい汚れているの？
大黒利用者58名の足の不潔度ポイント

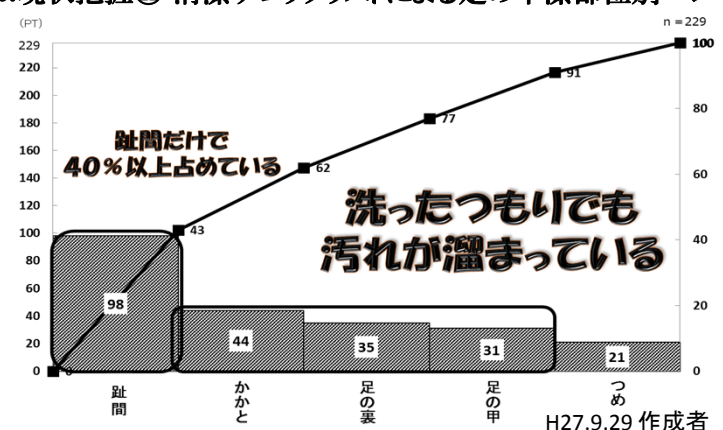


足の清潔チェックリスト内容

足の清潔度チェックリスト		
氏名	日付	○or×
趾間	カサカサしている	
	蒸れている	
	アカが溜まっている	
	皮めくれがある	
	水疱がある	
かかと	こするとアカ(角質)が出る	
	カサカサしている	
	こするとアカ(角質)が出る	
	ひび割れがある	
	水疱がある	
足裏	ガサガサしている	
	こするとアカ(角質)が出る	
	こするとアカ(角質)が出る	
	カサカサしている	
	爪が伸びている	
足のこう	アカが溜まっている	
	爪が伸びている	

※網掛け部分は入浴後にチェックする

6.現状把握⑪ 清潔チェックリストによる足の不潔部位別パレート図



- ・足の汚れている利用者が多かった。
- ・入浴業務の中で足に関わっている時間が短かった。
- ・足がしっかりと洗えていなかった。
- ・正しい洗い方が分かっていなかった。
- ・職員はキレイに洗えているつもりでいたが思っている程キレイに洗えていなかった。
- ・半介助で洗っているご利用者は自身では殆ど洗えていなかった。
- ・足の拭き上げがしっかりと行なえていなかった。
- ・介助の際に拒否があるご利用者がいた。
- ・足マットをご利用者毎に替えていなかった。
- ・指に変形があり洗いづらい。

H27.10.1作成者 平野

目標② 足の不潔ポイント229ポイントから60%ダウンの91ポイント以下にしよう

[illegible]

H27.10.10 作成者 村鳥

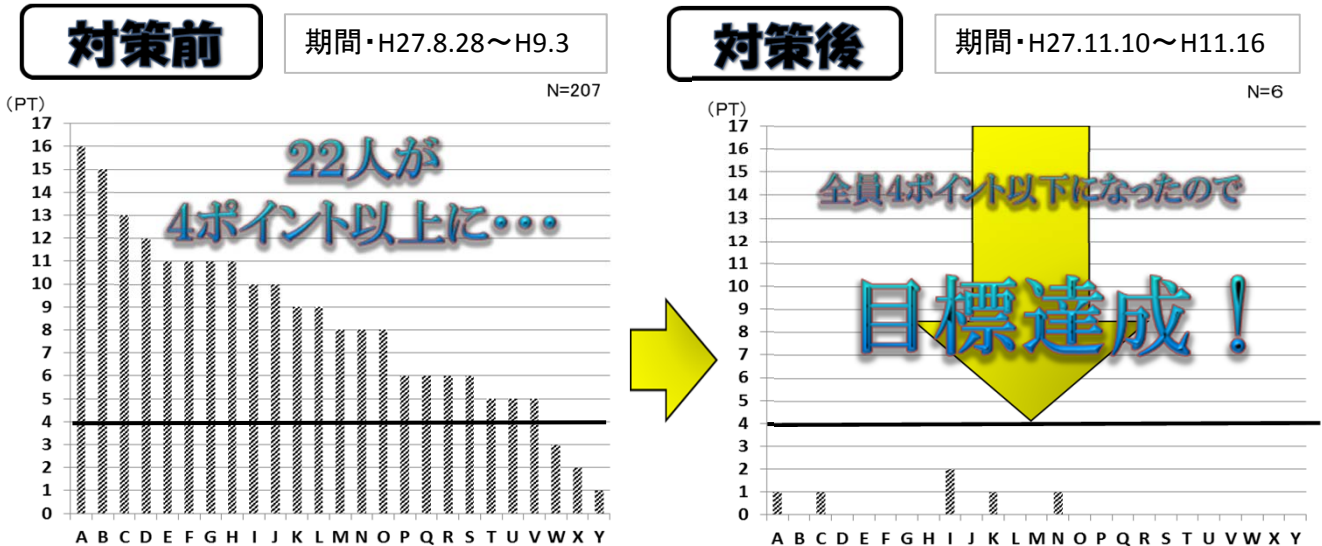
9.対策立案・実施

要因	いつ	どこで	誰が	何を	どうする
意識不足・知識不足	10月26日	リビング	QC班	水虫の危険性・足の清潔を保つ事の重要性の勉強会	開催する
汚れを・方法が落とす道具少ない	10月15日	ユニット	QC班	足湯バケツ・軍手 趾間洗い棒	用意する
	入浴時	浴室	職員	足湯バケツ・軍手 趾間洗い棒	使用して、足を洗う
足を拭く際、水気をタオルのみでしか取っていない	入浴後	脱衣場	職員	ドライヤーの冷風	使用して、足を乾かす
	入浴業務後	脱衣場	職員	水気のある足のまま	靴下を履き嫌悪感を体験する
足マットが足りない	10月20日	ユニット	QC班	足マット	作成する
足の洗いが統一されていない・洗い方のマニュアルが無い	10月20日	サービスセンター	QC班	足の洗い方マニュアル	作成し周知する。

10.効果確認 有形効果

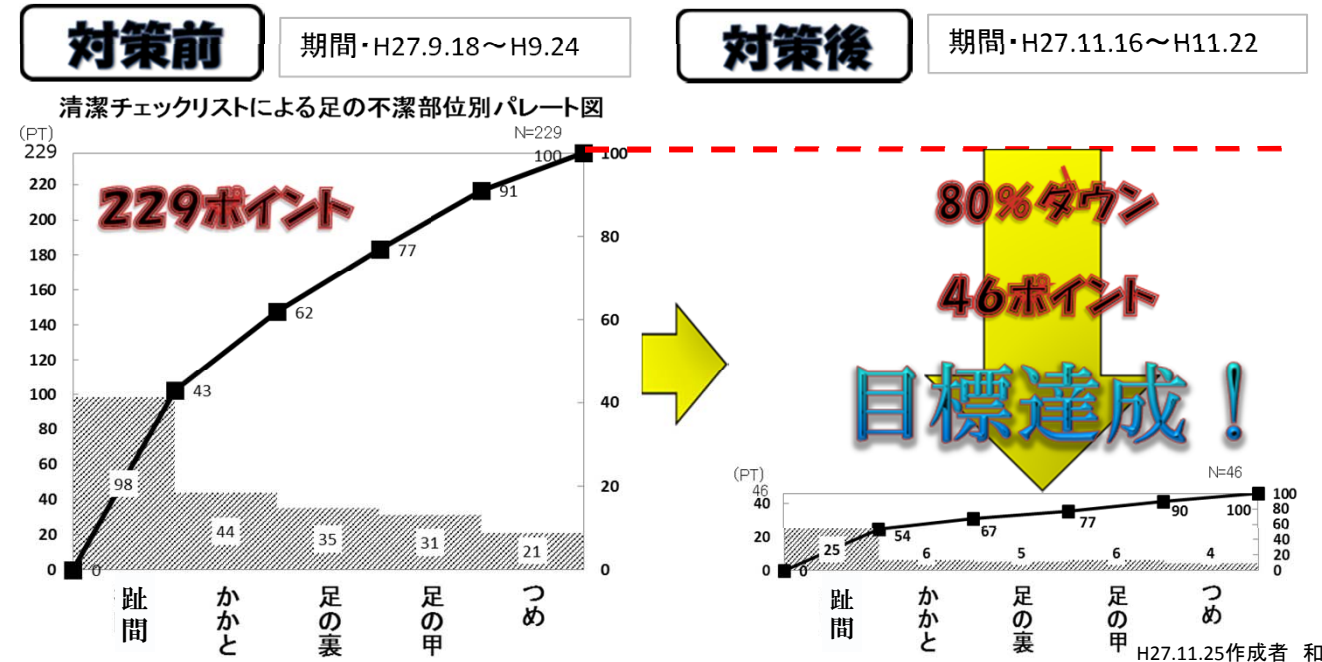
H27.10.20作成者 小林

① 1ヶ月で、入浴介助時、足を清潔に保つ為の17項目の出来ていない項目を全職員4ポイント以下にしよう



② 1ヶ月で足の不潔ポイント229ポイントから60%ダウンの91ポイント以下にしよう

H27.11.20作成者 和田

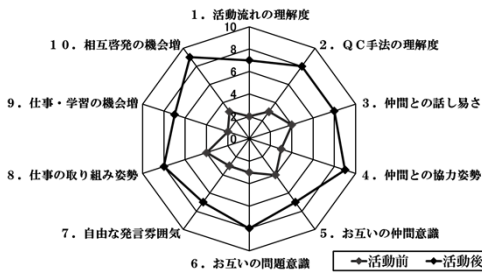


H27.11.25作成者 和田

無形効果

H27.11.25作成者 千葉

活動前後のグループ環境



波及効果

利用者より

- ①足が清潔になった事により、蒸れや痒みの訴えが減った！
- ②足湯をしたり軍手で洗う事で気持ちいいと喜んでくれた利者がいた！
- ③爪が長いままにならない事で皮膚トラブルが減った。

職員より

- ①足以外の部位にも目が行き身体全体の清潔を意識するようになった！
- ②足湯を行う事でシャワーで足を温める時間が無くなり、節水に！
- ③爪の長さを定期的に整える事で、着替えの妨げや剥離等の事故が減った！
- ④足以外にも皮膚トラブルに敏感になり早期の報告・処置が行える事で
重度化する事が少なくなった！

H27.11.25作成者 千葉

11. 歯止め

分類	要因	いつ	どこで	誰が	何を	どうする
標準化	利用者の入退所がある	入所1週間以内	浴室	入浴担当者	足の状態	チェックし、トラブルがあれば看護師に相談する。
	情報の共有が出来ていない				足のトラブル	申し送る
教育	職員の入れ替わりがある。	随時	サービスセンター	職員	清潔の基準、洗い方	指導する
維持管理	物品の劣化	毎月25日	浴室	QC班	劣化物品	新しい物に交換する。

H27.11.30作成者 水野

12. まとめと反省

項目	良かった点	難しかった・苦労した点
テーマ選定	身体の清潔という幅の広い中に見落としがちなテーマを選定できた。	テーマを足に絞るまでが大変だった。
現状把握	全利用者の足を見たことで、清潔の基準に気付く事が出来た。	各職員により清潔の基準が違い、統一したデータを取る事に苦労した。
目標設定	基準を決めた事で、具体的な目標を決める事が出来た。	目標を数値化する事が難しかった。
要因分析	皆で要因を様々な方面から探る事が出来た。	
対策立案と実施	色々なケースに合った対策を具体的に立てる事が出来た。	物品の用意に時間が掛かり、対策を周知するのに苦労した。
効果確認	目に見えて効果が現れ、それを分りやすく数値に表す事が出来た。	
歯止め	継続の大切さを認識できる対策を立てる事が出来た。	

13. おわりに

H27.12.5作成者 春田

今回の取り組みを通して、清潔保持という基本的なケアでありながら、見落としがちであった足に着目した事で足を清潔に保つ事の大切さを改めて知る事が出来ました。
今後の課題として、短期解決が困難であった爪白癬にも目を向け、長期的に取り組んでいきたいと思ひます。
足のトラブルには様々なものがあり、足の清潔がとても大切な事だと気づけました。
実際行っていたケア内容を職員が体験した事で、足の不快感を身を持って知る事が出来ました。
また、今回の取り組みでご利用者とコミュニケーションを取る機会も増え、気づきの力が養われ、さらに良いケアにも繋げていく事が出来る様になりました。
今回の経験を活かし、ご利用者が更に充実、安心した生活が送れるように努めて参ります。